

令和2年度 西砂学習館運営協議会（令和2年6月）会議録概要

日 時：令和2年6月11日（木）午後6時～8時30分

出 席：大橋 加藤 広瀬 進藤 小笠原 長谷川 岩元 森 増田

事務局：岡部 石川 俣本

欠 席：小林

1. あいさつ

立川市教育委員会教育部生涯学習推進センター長 岡部 浩昭

岡部：4月1日付で生涯学習推進センター長に着任した岡部と申します。新型コロナウイルスの為各学習館は4月8日から5月末日まで、八ヶ岳山荘は6月18日まで閉館。令和2年度は第6次生涯学習推進計画が始まる。その中で地域学習館の役割は地域拠点としての学び、地域のネットワークの構築、専門的な職員の養成や施設の充実等を大きな柱に掲げている。更に教育長が話す学社一体や立川市民科の取組は西砂から始まっているイメージで私もいる。地域、学校、児童館、地域学習館を上手に結び付けて発展出来たらとても良い。明日の議会では生涯学習推進計画と歴史民俗資料館の建物のあり方と検討の2点を報告する。立川市の発展のため、地域のため、市民のためのご尽力をよろしく願いいたします。

2. 辞令交付

石川：ソーシャルディスタンスを取る必要があります辞令は机上にあります。ご確認下さい。

3. 会長・副会長選出

石川：立候補者不在のため、事前に事務局が依頼。会長は大橋委員、副会長は加藤委員にお願いしたい。

大橋：皆に久しぶりにお会い出来て嬉しかった。第5期地域学習館運営協議会の報告書は2年間の活動で地域を知る機会になり勉強になった等プラスの感想や意見ばかりだった。2年間で出来る限りの活動ができた。十分な評価をして良いと思う。地域の課題、学社一体の話、立川市民科等プロセスはまだつかめない所がある。

加藤：並行して活動している立川市民推進委員会と地運協と連携し協力出来たら良いと思う。西砂学習館の運営協議会の活動は素晴らしい。

4. 令和2年度活動方針・活動計画（案）について

（1）令和2年度活動方針について

石川：資料2「地域活性化講座（令和2年度案・平成31年度実績）」参照。「地域の居場所づくり」、「地域の再発見」、「新しい住民の地域デビュー」、「その他の活動（防災、認

知症予防講座)」の4つを横軸に、「子ども」、「子育て中のパパママ」、「高齢者」を縦軸に3つの世代を対象とした区分けで講座を検討しているのが現状と思う。

小笠原：8月末まで児童館内で飲食物の提供ができない。「フリースペース・にしすな」はメインが食なので1番気にしている。サマーイベントも食の支援ができないため残念。児童館より早く他の施設で食事の提供が出来るようなら暫定的に児童館以外の施設でスタートさせたいとも考えている。再開出来ても定員の課題がある。「にしすな夜間塾」では夕飯の心配が不要な事が大きなメリットだが、ご飯がなければ参加しないと言う方はいないのであると思うので、児童館で引き続き行いたい。

大橋：「フリースペース・にしすな」は子どものための活動なので趣旨を活かし続けていきたい。「にしすな夜間塾」は軽食を提供しながらリラックスポラス学びの場として実施していたが、食事の提供が無くても続けられる講座だと思う。子どもの扱いは保育のあり方も合わせて考えていく必要があり課題として残る。

長谷川：「にしすな夜間塾」は講座後に食事を提供していたが、参加者も食事付きでなくても理解してくれると思う。講座を続けていくなれば今年度は食事無しで良いと思う。

広瀬：私も同様に思う。

大橋：今年度は講座を開くことをメインに考えて行えたら良い。

(2) 令和2年度活動計画(案)について

・「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！」について

石川：「西砂サマーイベント」チラシ参照。食事の提供が無くなったので食材寄付のお願い箇所を削除し、講座の内容を詳しく記入した。今年は岩間先生、片江先生、西砂図書館に講師を依頼。岩間先生は「折り鶴で数楽しよう!」、片江先生は「紫キャベツで色遊び!」、西砂図書館は「絵本でカルタ取り♪」を予定。3密を防ぐために、定員は各15名。昼食はおにぎりを持参。

大橋：8月4日、11日、18日の3回実施。食事は午前と午後を繋ぐ大切なツールであったが今回は提供出来ない。だが学習支援や子ども達の英知を高める講座を開く事で講座の趣旨は確保出来る。学びを支える支援は必要。講師やスタッフはフェイスシールド、子ども達はマスク着用などの対策をして進行出来たら良い。

石川：去年のサマーイベントの課題として午後の自習時間に飽きてしまう子ども達がいた。対策として、今年は2時頃からスライム作りやバルーンアート作りを予定している。

大橋：8月の初めには宿題が終わってしまう子どもがいる。飽きてつい走り回ってしまう。折り鶴は色んな種類があるから自主的に行う部分を提案出来たら、午後の学習の時間でも行える。

岩本：定員が15名だが、会場を広い部屋にするともう少し子ども達を集めることが出来る。

石川：4日と18日は視聴覚室を予約しているが11日のみ視聴覚室は他団体が既に予約をしている。事情を話し部屋を交換してもらい、定員を20名にする。

森：「折り鶴で数楽しよう！」の講座に以前参加した。普通の折り紙と違い細かい作業があるので、低学年用に内容を配慮した方が良い。

大橋：岩間先生は今も学校の先生で森委員が危惧している事も把握していると思う。

石川：打合せで低学年生でも完成出来る物か確認する。

小笠原：8月11日は児童館職員も参加が可能。児童館職員が持っている工作技術を午後の時間に活用出来る。小学校の放課後子ども教室がなくなっている中で児童館職員が子ども達の顔を覚えられる良い機会になる。

大橋：児童館職員が教える講座を午後の枠として区切ったほうが良い。

小笠原：おにぎり等持参とあるが、一時帰宅をして戻ってくることも可能なのか。

石川：一時帰宅も可能。一時帰宅する子には申込時に連絡先を確認する。

森：申し込みを午前と午後に分けて、別を基本とすれば分かり易くなる。

岩本：チラシの「夏休みの勉強は2学期の成績に表れます」の記載はない方が良い。

・その他の講座の取組について

大橋：「認知症予防講座」はソーシャルディスタンスを守れば実施は可能と思う。「防災講座」では防災グッズの話が出来たら良い。

岩元：コロナウイルスの時に避難所をどう開設するかが課題。国でも避難所のあり方が変わってきていると話している。

岡部：防災課に地域学習館が避難所となった場合、どう感染症から防ぐかの計画を示してほしいとお願いした。

広瀬：地域として防災意識をもう少し上げてもらえたらと思う。

岩元：自治会長も熱心な会長さんがいる。地域マップを初めて作った時に西砂地区は手を挙げたが、その後の意識の高まりはあまり進んでいないと感じる。自治会の参加を呼び掛けると尚更良い。企画段階から一緒に進めていければ良い。

加藤：地域の人達と自治会とのパイプ作りが出来たら良いと思う。

大橋：被災した時に1~2週間は自力で生活しなくてはならないエリアなので、地域の防災意識を高めなくてはいけないし、地域の防災を考えていく必要がある。

広瀬：以前まで新しい住民と農家は中々交じり合えなかったが、お互いが関わり合いお互いを理解したら地産地消がもっと進むことをようやく気付き始めた。

岩元：「地元を学ぼう！」は豊泉さんになるべく早く連絡した方が良い。

広瀬：内容については繰り返しになるが地域を知る講座になれば良い。

森：認知症予防講座はコロナウイルスやインフルエンザが流行る時期に開催されているので、時期を変えると良い。

5. 報告及び連絡事項

(1) 前回の議事録

大橋：何かあれば事務局へ。

(2) フリースペース（報告）

小笠原：この様な状況のため今は活動が止まっているが、少しでも早く居場所を提供したい。少しでも早く再開してくれることを祈っている。

(3) 各委員から報告

加藤：市民推進委員会では3月～6月までの講座は全て中止。7月から西砂で2つの講座「クラシック音楽入門講座」、「知られざる立川の野仏めぐり—砂川編—」を予定。9月5日「市民交流クッキング」を予定していたが今年中止。9月1日、2日「パソコン講座 Word 入門」は森委員が講師。

広瀬：市民推進委員を3月で退任。地運協は4月以降も引き続きお世話になるのでよろしくをお願いします。ボランティアの定例会が社会福祉協議会で行われた。医療従事者の人たちは本当に大変な思いをしている。80代からの元気な人たちをどの様に社会参加してもらうかが課題。

進藤：社会福祉協議会では5月から「新型コロナウイルス感染症対策の地域支援寄付金」をスタート。立川市内の新型コロナウイルス感染症で影響を受けた団体を対象とした助成で上限は1団体10万円。今現在は申請を受け付けて交付決定したのは2団体で、審査中の団体が数件ある。

フードバンクについて。事前申し込みをした家庭にその場で食品を渡す取組を始めた地区がある。西砂地区でも始められそうなのでその場合はまた報告する。

WestWave 立川によるこの地域のマップが完成。学習館にも配架予定。

長谷川：青少健では5月16日に総会が予定していたが中止になり、書面表決の形になった。

小学生が参加する稲刈りは6月5日の午前と午後に分かれ松中小のみで実施。脱穀は子ども達が参加せずに7月4日に予定。たいまつ祭は中止が決定。松中小の放課後子ども教室は市から連絡があり、早ければ9月1日から開始予定。

小笠原：児童館は6月1日から2つに分けて再開。Aグループは奇数学年と中学生、Bグループは偶数学年と高校生。1日交代で分けている。行事は再開していない。7月から学習支援「つくしの学校」を再開予定。学童保育、ランドセル来館は行っていた。子ども食堂を少しでも早く再開したいとあって目標は9月。食材の寄付を頂くことも多くて地域のありがたみを実感している。保護者も含めて辛い3か月を過ごされたと思うし、密にならない形での支援を模索している。

岩元：文化会は5月31日に総会が予定していたが中止になり、書面表決の形になった。5月10日に予定されていたお茶摘み、8月のカラオケ大会も中止の予定。文化祭は

10月31日と11月1日に予定。文化会は会長が変わる予定。

森：西砂パソコン倶楽部は3月に予定していた「パソコンスキルアップ講座」が中止。サークルは6月まで活動を中止、7月から再開の予定。受講者に教える際に距離が近いことを心配している。オンラインが進んでいてインターネットが高齢者にとっても大事なツールになると感じた。

学習館の活動をもっと知ってほしいとのことで、例えば学校行事に合わせてパネル展示を見やすい所に設置できれば保護者の方に見てもらうことができ良い。

増田：たちかわ・財政を考える会では活動を再開。立川市第4次長期総合計画の折り返し点令和2年度の予算が決まったが、コロナウイルス対応を考えると国も都も市も実態に合った形での予算修正が発生している。市民も自ら協力してなくてはいけないと思う。主権者市民が持っているスキルや経験を行政運営に反映させていかななくてはならない。財政の事を一人も多くの市民が自分事とと思っていただけるように活動していきたい。

石川：6月17日の風間杜夫独演会が中止になったが、2月5日に再調整出来そう。子育てひろばと第2実習室のエアコンが新設された。

岡部：地域課題が予想以上にあり参考になった。西砂学習館の運営協議会ではこんなにも沢山の意見が出るのだなと感じた。

6. その他

※次回開催；次回は、7月9日（木）午後6時～ 西砂学習館